

◆ 平成27年度活動報告シート ◆

団体名：NPO法人 一二三富の会

代表者：代表理事 浜端英男

URL : <http://hifumitominokai.wix.com/hifumitominokai>

1. 活動が必要とされた状況

坂戸市では、貴重な樹林地が伐採されて宅地開発や区画整理が進められている状況にあつて、街の緑は急激に減少している。そのような現況を憂慮し、当団体は、既存緑地の保全、さらに積極的な「緑のまちづくり」をモットーにして活動を行っている。その中で、市街地に隣接する平地林の心ある所有者から、竹藪状態の桧林0.6haを市民のために整備し活用してほしいとの意向を受け、「市民の森」と位置付け、当団体が整備作業を引受けた。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

この整備事業は3年計画で実施している。26年度には笹藪の伐採と苅込を行い桧林全体の第1次整備を完了した。今年度は第2年目として、第2次の苅込、桧林の間伐、遊歩道の設定と整備、伐採材のチップ化などを主とした整備作業を実施した。作業日は年間を通じて21回となり、参加者は延べ人数で179人、1回当たり8.5人であった。

- ① 用具倉庫の設置：5/22, 5/29、基礎工及び組立設置工を実施して完成、参加者12名
- ② 伐採材の整理：6/2, 6/28、前年度の伐採残材について集積整理を実施、参加者19名
- ③ 遊歩道設定と徹底苅込整備：7/2, 7/19, 10/1、林間全域に遊歩道ルートを設定し、徹底した苅込整備を実施、参加者24名
- ④ 桧林の間伐と用材処理：9/13, 11/15, 11/22, 1/24, 2/7、5回にわたりチェーンソーを用いて桧21本を伐採、用材化の枝打ち、切断、皮むきなどの作業を実施、参加者49名
- ⑤ 伐採材チップ化第1回：10/8, 10/9, 10/14、レンタルのチップマシンを使用し伐採残材のチップ化作業を実施、参加者26名
- ⑥ 伐採材チップ化第2回：12/3, 12/4, 12/8, 12/10, 12/12、レンタルチップマシンを使用し伐採材のチップ化作業、合わせて遊歩道への敷均しを実施、参加者43名
- ⑦ 幼木の移植：11/25、林間にある広葉樹幼木を活用するため移植作業を実施、参加者6名
- ⑧ 森の勉強会開催：10/18、外部講師を招き森の植生・その管理法などの現場勉強会を開催、参加者20名



チップマシンを用いた作業風景

3. 活動の成果

笹竹の密林状態にあつた林間は、徹底した苅込によって人が安全に立ち入ることが出来る環境に整備された。加えて桧林の間伐と伐採材の処理、遊歩道の整備も順調に進められ、2年目として計画した整備はほぼ計画通りに実施された。

4. 今後に残された課題

坂戸市「市民の森」の認定を取得、住民に憩いの緑空間を提供する課題は下記である。

- ① 長期的見地にもとづく快適な緑空間創造のため、桧林の間伐を行うとともに落葉広葉樹への樹種変更による植樹によって林相改造を推進すること。
- ② 市民の憩いの場としての快適空間とするための整備計画をさらに具体化すること。
- ③ 坂戸市より「市民の森」としての認定を取得すること。